

平成19年度 施策評価表

所属 21100000

都市整備部 街づ調整課

施策	1135 駐車・駐輪場						
区分							
対象	区内の道路上に違法駐車する車両の運転者及び放置自転車整理区域内への自転車放置者						
施策意図	違法な駐車・駐輪が少なくなっている						
現状と課題	区内の違法駐車台数及び放置自転車の台数は共に減少傾向にある。しかし、駅周辺への自転車の乗入れ需要は多い。違法駐車・駐輪対策には、駐車駐輪施設の確保はもとより、指導誘導や規制の強化とともに公共交通機関への利用呼びかけ等が重要である。						
成果指標	[成果指標1]一日平均の瞬間的自転車放置率(一日のある時間での放置自転車整理区域内の放置自転車台数÷区域内乗入れ自転車台数) [成果指標2]一日平均の区内違法駐車台数						
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度		
	成果指標1 [%]	予定	18.70	18.70	18.50		
		実績	18.69	16.85			
	成果指標2 [台]	予定	500.00	600.00	594.00		
		実績	401.00	143.00			
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定		795,747	945,726		
		実績	641,111	1,102,857			
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。違法駐車の防止に向けては区民等との協働が必要であるが、安全かつ快適な歩行が可能な道路整備や、その適正な利用を促すのは区が中心となっていくべきである。				
区民ニーズへの貢献		大きい。違法な駐車や駐輪の少ない安全で快適な街にすることは、区民の利便性・快適性の向上に大きく貢献している。					
成果向上の必要性		現状維持。成果は徐々に上がってきているが、引き続き現在の水準を維持する必要がある。					
成果向上の容易性		容易ではない。違法な駐車や駐輪の少ない街にすることは施設整備等ハード面を含め、多額の費用を要する。					
位置付け総合評価	継続。違法駐車・駐輪対策にあたっては、ハード面である財政的負担の大きい駐車駐輪施設の整備だけでなく、自動車や自転車利用者のマナー向上などの、ソフト面の充実も重要である。そのためには職員の創意工夫とともに住民やボランティア団体の協力が不可欠であり、ハード及びソフト面を含め、引き続き総合的に施策を推進する必要がある。						
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価
	113501	違法駐車防止巡回指導及び誘導委託				3,168	5
	113502	駐車場管理運営				165,763	5
	113503	新小岩東北自転車駐車場整備事業				26,007	5
	113504	自転車駐車場管理運営				104,417	5
	113505	自転車置場管理運営				2,109	5
	113506	放置自転車追放キャラバン				9,169	5
	113509	自転車駐車場整備				566,538	5
	113507	自転車保管所管理運営				68,537	4
113508	放置自転車撤去・誘導及び指導				157,149	4	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 21100000

施 策 1135

都市整備部 街づ調整課

駐車・駐輪場

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		68,325	105,791		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		403,681	287,384		
		一般財源	(5)		88,698	328,088		
	直接費	事業費	(6)		499,141	664,066		
	職員人件費	人件費	(7)		59,106	52,202		
		再雇用職員分	(8)		2,295	4,995		
		(職員数：賦課)	(9)		7.38	6.07		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		7.38	6.07		
	間接費	(12)		162	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		125,991	126,049		
		(加算)金利	(14)		103,310	94,165		
		(加算)退職給与引当	(15)		5,742	4,249		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			235,043	224,463		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			795,747	945,726		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	11,810	5,188			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	392,292	260,317			
		一般財源	(24)	-6,700	603,613			
	直接費	事業費	(25)	345,244	810,430			
	職員人件費	人件費	(26)	46,978	56,322			
		再雇用職員分	(27)	5,180	2,210			
		(職員数：賦課)	(28)	5.66	7.34			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	5.66	7.34			
	間接費	(31)	0	156				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	126,454	125,991			
		(加算)金利	(33)	112,161	103,310			
		(加算)退職給与引当	(34)	5,094	4,438			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	243,709	233,739				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	641,111	1,102,857				

施策名	駐車・駐輪場
-----	--------

担当課： 街づくり調整課

施策の達成状況

【達成度評価】

成果指標上、施策目標は達成している。

・一日平均の自転車放置率(一日のある時間での放置自転車整理区域内の放置自転車率÷区域内乗入れ自転車台数)

・一日平均の区内違法駐車台数

いずれの指標も前年度を下回っている。

構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】

引き続き、事業実施していく。